

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

| | | | |
|-------------|--|--------|---------------|
| 学 校 名 | 関市立寺尾小学校 | | |
| 実 施 期 間 | 平成26年11月1日(土) | | |
| 実 施 概 要 | ・第10回寺尾小まつりを実施(地域の方とのふれあいを深める取組) | | |
| 実 施 内 容 | 学習・取り組みの分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 | | |
| | 公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 来 校 者 数 | 保護者 | 約 45 人 | 計 約130 人 |
| | 地域関係者 | 約 85 人 | |
| 実 施 状 況 | <p>本校では、平成17年度から、以下の活動を通して、地域及びPTAの方と一緒に活動し、児童の姿を公開する場としてふるさと教育週間を位置付けている。</p> <p>①第10回寺尾小まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日11月1日(土) 約130名参加 ・地域団体及び学校職員により構成される「寺尾小の子どもを守り育てる会」を実行委員会とし、事前にねらいと活動内容を打ち合わせ、参加者と児童のふれあいと協力を重点にすることを確認した。 ・前半は地域の方と児童が遊び(フライングディスクと紙飛行機づくり)を通して交流活動を行った。途中、全校児童による「おみこしつり」を実施した。後半は地域の方や保護者と一緒に準備した食事を児童が配膳し、全参加者と一緒に食べた。 ・活動の最中に、児童は相手を思いやる言葉遣いや行動を意識して行動するよう意識づけ、参加者からは児童の姿について価値付けをしていただいた。 ・高学年の児童は、事前に各団体の責任者に招待状を、また、当日は参加者一人一人のお礼の手紙を手渡し、心のふれあいを重点に置いた活動を意識することができた。 ・参加者が全員名札を着用し、お互いの名前を呼び合うことで親密な関係を築きあえることができた。 | | |
| 成 果 及 び 課 題 | <ul style="list-style-type: none"> ・多数の地域の方が参加され、活動を通してふれあいを深めることができた。 ・地域の方と声をかけあい、少人数のグループで交流し、児童一人一人が地域社会の一員として大切にされていることを実感することができた。 <p>【参加者の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺尾小とは、いろいろな交流会を通して、自然に子どもたちと参加者が溶け合い、無理がないように思います。これからも多く交流して、障がいのある方の理解をしていただきたいと思います。(校区内の障がい者施設の担当) ・フライングディスクも紙飛行機も大人も一緒になってとても楽しめたと思います。大人も子どもも必死になっていて、夢中になっていたように思います。楽しくふれあえました。(保護者) | | |